

地域住民が主役となり地域課題に取り組むための基盤をつくる

1 地域の実情に応じた取組

※（財源）今年度決算額【前年度決算額】

**地区社協活動支援** ≪重点事業≫ （市社協補助金）（共同募金）5,480 千円【5,349 千円】

地区社協活動の推進を目的に、各地区社協からの相談に応じ情報提供や助成等の活動支援を行った。また、改訂された「地区社協のてびき」で示された、一人ひとりの困りごとを解決する仕組みづくりを進めるため、地区社協と連携し、「ちょこっとボランティア（住民同士の助け合い・支えあい活動）」や「サロン」の立ち上げ・継続支援等を行った。

（1）区内 19 の地区社協の活動支援を目的として活動費の交付および福祉講座・研修会の開催支援と助成を行った。また、地域福祉保健計画地区別計画の推進のため、広報・研修・調査費用等の助成を実施した。

① 活動助成金：5,149,000 円(19 地区) (単位：円)

	地区名	市社協補助金	区社協助成		合計
			広報啓発事業※	世帯按分助成	
1	鶴ヶ峰	50,000	10,000	226,000	286,000
2	白根	50,000	10,000	193,000	253,000
3	旭北	50,000	10,000	197,000	257,000
4	上白根	50,000	10,000	168,000	228,000
5	今宿	50,000	50,000	194,000	294,000
6	川井	50,000	—	193,000	243,000
7	若葉台	50,000	70,000	199,000	319,000
8	笹野台	50,000	80,000	189,000	319,000
9	希望が丘中	50,000	—	185,000	235,000
10	希望が丘南	50,000	10,000	200,000	260,000
11	希望が丘東	50,000	10,000	182,000	242,000
12	さちが丘	50,000	10,000	191,000	251,000
13	万騎が原	50,000	80,000	181,000	311,000
14	二俣川	50,000	10,000	200,000	260,000
15	二俣川ニュータウン	50,000	100,000	190,000	340,000
16	旭中央	50,000	10,000	175,000	235,000
17	旭南部	50,000	10,000	188,000	248,000
18	左近山	50,000	50,000	193,000	293,000
19	市沢	50,000	50,000	175,000	275,000
	合計	950,000	580,000	3,619,000	5,149,000

区社協助成については、共同募金（年末たすけあい）を財源として助成を行った。

※広報啓発事業（上限 100,000 円）

- ・ホームページの開設・運営：上限 30,000 円
- ・広報紙（地区社協だより等）の発行： 上限 70,000 円
- …年 1 回：10,000 円、年 4 回（全戸配布）：50,000 円、年 6 回（全戸配布）：70,000 円

②福祉講座・研修会助成：156,500円（8地区）

	地区名	金額(円)	日程	内容	参加者数
1	希望が丘東※1	40,000	①7月6日 ②10月26日	生活支援ボランティア育成講座	①8人 ②6人
2	今宿	20,000	9月23日	福祉講演会 「住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域づくりとは」	49人
3	市沢	20,000	11月3日	市沢地区社協の集い 「“知っていますか？今からできる”人生100年を豊かに生きるための準備」	314人
4	旭北	8,500	11月10日	映画会と健康体操	40人
5	二俣川ニュータウン	20,000	11月10日	福祉講演会 「相続法の改正と対策」 ～40年ぶりに大幅改正となった相続法～	57人
6	白根	18,000	11月13日	地域福祉保健啓発講座 「精神障害の理解」 ～どんな障害なの？～	38人
7	笹野台	10,000	11月24日	福祉講演会 「ケアプラザってなに？」	67人
8	万騎が原	20,000	2月16日	笑って元気！落語	44人

共同募金（年末たすけあい）を財源として助成を行った。

※具体的な担い手を発掘育成することを目的として連続で開催する講座助成（上限40,000円）

③地域福祉保健計画地区別計画取組助成：175,400円（5地区）

	地区名	金額(円)	内容	備考
1	白根	40,000	自主防災マップの発行	5月発行 部数：5,000部
2	若葉台	2,860	地域福祉保健課題解決に向けた講演会と情報交換会の開催	中止※
3	笹野台	19,155	①障害理解講座の開催 ②やさしい終活教室	①2月15日開催 参加者23人 ②中止※
4	希望が丘中	40,000	①災害時要援護者の把握・実態調査 ②オアシス運動の実施	①6月実施 全世帯対象調査 ②あいさつ運動のポスター掲示
5	希望が丘南	50,000	マイカプセル推進事業	2月配布 本数：600本

共同募金（年末たすけあい）を財源に助成を行った（上限50,000円）。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止となったが、支払い済の経費（チラシ印刷費等）については助成。

- (2)職員を地区担当制とし、地区社協事業・活動ニーズ等の状況把握や地区で進められている新規事業の立ち上げ、支えあい活動(サロンや子ども食堂等)の支援を行った。また、ボランティアセンターや移動情報センター等、区社協に寄せられた相談を地域につなげ、解決を図った。さらに、各ケアプラザと連携した地域支援を展開するために情報交換会を開催した。
- (3)「地区社協分科会 (P43 参照)」を定例開催し、各地区の取組状況、グループワーク等を通じて意見交換、情報交換を行った。また各地区の広報紙や行政からのお知らせ等をまとめ、「地区社協定期便」として月1回地区社協に情報提供を行った。
- (4)地区社会福祉協議会役員等を対象として地域福祉の推進を目的に役員向け研修会を開催した。

第1回	目的	地区社協に求められる役割や地域福祉保健計画について学ぶ。 ※新任役員研修として実施
	日程	5月23日(木) ※第1回地区社協分科会と同日開催
	場所	福祉保健活動拠点
	人数	21人(12地区)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域共生社会の実現に向けて</li> <li>・区社会福祉協議会について</li> <li>・地区社会福祉協議会に求められる役割</li> <li>・旭区地域福祉保健計画「きらっとあさひプラン」について</li> </ul>
	講師	区社協担当職員、区福祉保健課事業企画担当係長
第2回	目的	地区社協のネットワークを活かした、見守り・支えあい活動における役割を学ぶ。
	日程	7月25日(木) ※第2回地区社協分科会と同日開催
	場所	福祉保健活動拠点
	人数	35人(19地区)
	内容	見守り・支えあい活動における地区社協の役割
講師	社会福祉法人 中央共同募金会 常務理事 渋谷 篤男氏	
第3回	目的	困りごとに寄り添い、ネットワークを活かして解決していくという役割について、他都市の先進事例から学び今後の活動の一助とする。
	日程	9月27日(火) ※第3回地区社協分科会と同日開催
	場所	沼津市愛鷹地区センター
	人数	33人(16地区)
	内容	各種団体がささえる「小地域福祉ネットワーク活動について」
講師	沼津市愛鷹地区社会福祉協議会役員	



(5) 横浜市社協と 18 区社協との共催として、「第 5 回 よこはま地域福祉フォーラム～「おたがいさま」の縁づくり～縁で彩る支えあい」を開催した。

日 程	1 月 30 日 (木)
場 所	関内ホール
人 数	全体：1,458 人 (全体会：762 人、分科会 (分科会 1・2)：696 人) 【旭区】民児協：19 人、地区社協：27 人 (※申込人数)
内 容	【基調講演】 テーマ：ひとりぼっちにしないまちづくり ～地域で育む、子どもたちに寄り添う～ 講師：こどもソーシャルワークセンター 理事長 幸重 忠孝氏 【分科会 1・2】

### 生活支援体制整備事業

《重点事業》

(市社協委託料) 200 千円【200 千円】

高齢者等一人ひとりができることを大切にしながら、住み慣れた地域で暮らし続けるために、多様な主体が連携・協力できる地域作りを目指して開始された生活支援体制整備事業は 4 年目を終えた。その中で今年度は、区域全体での広報・啓発活動を充実させるとともに、各 2 層生活支援コーディネーターがビジョンをしっかりと持った上で、活動を進められるよう研修や勉強会などの支援を行った。

#### (1) 1 層(区域)生活支援コーディネーターとしての取組

##### ①区域での広報啓発・理解促進

生活支援体制整備事業の広報啓発・理解促進を図るため、専門職や住民向けの研修会を行った。

- ・介護予防ケアマネジメント研修 (区役所・地域包括支援センター連絡会と共催)  
ケアマネジャー向けの研修会の中で、生活支援体制整備事業の説明と事例検討会を行った。

- ・地域包括支援センター連絡会共催研修会 ※新型コロナウイルスの影響により中止  
「高齢者を地域で豊かに支えるために

～地域包括支援センターと生活支援コーディネーターの連携」

区内包括支援センター連絡会と共催で、高齢者が地域の中で豊かに暮らすために、制度・サービスの活用とインフォーマルサービスをうまく組み合わせた支援を行うことを目的とした研修会。

#### (2) 2 層生活支援コーディネーターと協働した取組

2 層生活支援コーディネーター 13 名と連携し、地域で活動する様々な団体向けに、さらなる生活支援体制整備事業の理解促進と各地域における具体的な活動につなげるために、神奈川県社会福祉協議会と共催で「旭区生活支援体制整備事業フォーラム」を開催した。また、活動団体同士のネットワーク構築や情報交換を目的に連絡会を開催した。

【旭区生活支援体制整備事業フォーラム】

日 程	①11月6日(水) ②12月3日(火)
場 所	①旭公会堂ホール及び会議室、区役所新館大会議室 ②旭区民文化センター サンハート
人 数	①233名(基調講演のみ:30名、分科会1:102名、2:47名、3:54名) ②80名(企業関係・行政関係:24名、地域関係56名)
内 容	<p>① ○基調講演「地域で生き活きと安心して暮らし続けるために」 講師:社会福祉法人中央共同募金会 常務理事 渋谷 篤男氏</p> <p>○分科会(事例報告とパネルディスカッション)</p> <p>1)「交流・居場所」 ファシリテーター:横浜創英大学 講師 平野 友康氏</p> <p>2)「生活支援」 ファシリテーター: 社会福祉法人中央共同募金会 常務理事 渋谷 篤男氏</p> <p>3)「見守り・つながり」 ファシリテーター:社会福祉法人大樹 理事長 山本一郎氏</p> <p>② ○講演「企業にしかできない地域貢献」 講師:横浜創英大学 講師 平野 友康氏</p> <p>○企業の事例紹介・パネルディスカッション</p> <p>1. 株式会社K o K o R o - i k i レコードブック 2. 株式会社ウィズネット グループホームみんなの家・横浜金が谷 3. 社会福祉法人慶優会 特別養護老人ホーム今宿ホーム 4. 株式会社サカモト 坂本祭典 5. 横浜銀行 希望ヶ丘支店</p>

【食事サービス連絡会】

日 程	①6月4日(火) ②2月20日(木)
場 所	①鶴ヶ峰地域ケアプラザ ②福祉保健活動拠点
人 数	①47人(27団体) ②51人(31団体)
内 容	<p>①-1生活支援体制整備事業について -2夏季の食中毒について(旭区役所生活衛生課) -3研修「防災備蓄を活用したレシピ」(試食会) (旭区食生活等改善推進員会(ヘルスマイト)) (旭区役所福祉保健課健康づくり係)</p> <p>②-1冬季の食中毒について(旭区役所生活衛生課) -2交流会</p>

【ちよこつとボランティア連絡会】 ※新型コロナウイルスの影響により中止

日 程	3月27日(金)
場 所	福祉保健活動拠点
人 数	—
内 容	<p>①-1活動を安全に行って頂くための講座 「活動中の交通安全について」(旭警察署)</p> <p>-2情報交換</p>

(3) 2層(地域ケアプラザエリア)生活支援コーディネーターへの支援

①生活支援コーディネーター同士の情報交換の場づくり

【生活支援コーディネーター連絡会】(原則毎月第3木曜日)

日 程	①4月18日(木) ②5月15日(木) ③6月20日(木) ④7月18日(木) ⑤9月19日(木) ⑥10月17日(木) ⑦11月21日(木) ⑧12月3日(火) ⑨2月20日(木) ⑩3月19日(木)⇒新型コロナウイルスの影響により中止
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	13 地域ケアプラザの2層生活支援コーディネーター
内 容	(1)区役所からの情報提供 (2)区社協からの情報提供 (3)生活支援コーディネーターが進めている各連絡会からの取組報告 (4)テーマを決めた情報交換等 (司会担当コーディネーターの決めたテーマによる)

②研修の機会づくり

【研修会の開催】

2層生活支援コーディネーターが、生活支援体制整備事業の理解を深め、コーディネーターとして必要な知識やスキルを学ぶために研修会を開催した。また、地域に住む高齢者一人ひとりの困りごとへの向きあい方や制度やサービスではなく地域でできることについて考える機会を作った。さらに、他区の事例を視察し、優れている点や取組のポイントについて学ぶ機会を作った。

No	開催日	内 容	人数
1	4月3日	着任3年未満勉強会(上白根CP、笹野台CP) 「生活支援コーディネーターの日々の業務の進め方」	2
2	5月13日	新任勉強会(今宿CP) 「生活支援体制整備事業の背景～地域共生社会との関わり～」	1
3	5月17日	着任3年未満勉強会(二俣川CP、上白根CP、笹野台CP) 「地域支援における地域との関わり方」	3
4	8月8日	新任勉強会(白根CP) 「生活支援体制整備事業の背景～地域共生社会との関わり～」	1
5	8月26日	ちょこっとボランティア連絡会メンバー 勉強会 「地域支援における地域との関わり方」	4
6	8月27日	旭区介護予防支援・介護予防ケアマネジメント研修	13
7	10月29日	着任3年未満勉強会(二俣川CP、上白根CP、笹野台CP) 「地域の各委嘱委員について」	3
8	12月10日	新任研修会(今宿CP、白根CP) 「個別支援から地域支援につなげる」	2
9	1月20日	着任3年未満勉強会(二俣川CP、上白根CP、笹野台CP) 「地域関連のデータの読み方」	3
10	3月	個別ワーク 「生活支援体制整備事業を進めるために」	13

※その他、地区社協分科会に参加し、グループワークの進行や意見交換を行った。また、新あさひみらい塾にも参加し、参加者とともに講演を聞いたり、他区、他都市の事例視察なども行った。(P35、43 参照)

(6)その他

- ①各2層生活支援コーディネーターから相談を受け、進捗状況の確認、事業の進め方の相談、情報提供を行った。
- ②活動の基盤整備として地域活動・サービスリスト「ayamu」の入力を行い、活用できるように整備した。

**各種助成事業**

《重点事業》

(市社協補助金)(共同募金)(善意銀行) 13,132 千円【12,450 千円】

区内の地域福祉関係団体(ボランティア・当事者団体等)や地区での福祉に関する取組に対し、助成金を通じて支援した。(各区分、団体名、事業名、助成額の詳細については、P47～P53 参照。)また、助成金制度の円滑な運営と適正な執行のために、申込団体の審査や制度の検討を、助成金審査委員会にて行った。

**【助成金審査委員会】**

第1回	日程	5月29日(水)
	場所	福祉保健活動拠点
	人数	5名
	内容	(1)委員長の選出について (2)平成30年度あさひふれあい助成金の助成結果について (3)令和元年度あさひふれあい助成金の申請団体について (4)令和元年度地域福祉活動団体等活動助成の審査について (5)平成30年度区社協独自助成金の助成結果について (6)令和元年度区社協独自助成金の審査について
	結果	(1)～(6)承認された。
第2回	日程	9月5日(木)
	場所	福祉保健活動拠点
	人数	5名
	内容	(1)令和元年度区社協独自助成金の審査について (2)令和元年度あさひふれあい助成金の配分結果について (3)あさひふれあい助成金の団体ヒアリングについて (4)地域福祉活動団体等活動助成の見直しについて
	結果	(1)～(4)承認された。
第3回	日程	11月7日(木)
	場所	福祉保健活動拠点
	人数	4名
	内容	(1)令和元年度区社協独自助成金の審査について (2)令和元年度あさひふれあい助成金のヒアリング経過について (3)令和元年度地域福祉活動団体等活動助成の見直しについて
	結果	(1)～(3)承認された。

第4回	日程	2月26日(水)
	場所	福祉保健活動拠点
	人数	3名
	内容	(1)令和元年度区社協独自助成金の審査について (2)令和元年度あさひふれあい助成金について (3)令和2年度あさひふれあい助成金について
	結果	(1)～(3)承認された。

(1)あさひふれあい助成金

市社協補助金・共同募金配分金・善意銀行配分金を原資として、区内の地域福祉関係団体の事業に対して助成した。

【あさひふれあい助成金 配分結果】

区分		助成件数	助成金額(円)
要援護者支援	集いの場	65	5,754,000
	家事・生活支援活動	5	490,000
	配食	5	940,000
	送迎	4	1,150,000
障害当事者支援	障害当事者活動	13	922,000
	宿泊日帰り	4	200,000
	視聴覚障害者支援	3	145,000
福祉のまちづくり		25	945,000
健康増進		1	10,000
新規立ち上げ	要援護者支援(集いの場)	4	160,000
	要援護者支援(家事・生活支援活動)		
合計		129	10,716,000

(2)旭区社協独自助成

新たな地域活動の立上げやさらなる活動の継続と充実を支援するため、区社協独自助成金(①ふれあい助成金激変緩和措置、②ボランティア備品購入、③周年事業・記念誌発行等助成金、④地域の見守り支えあい活動助成金)を交付した。

	名称	件数	金額(円)	財源	助成内容
1	ふれあい助成金 激変緩和措置 (H30～R2)	14	270,000	善意銀行	区社協会員が対象。ふれあい助成金の制度変更に伴い、同じ事業で助成額が減額となる団体に事業費を助成。 (上限額2万円)
2	ボランティア備品購入	5	355,000	善意銀行	区社協第6種会員を対象に、活動で使用する備品を購入するための費用を助成。 (上限額10万円)

3	周年事業・記念誌発行等助成金	4	371,000	善意銀行	区社協会員が対象。団体・施設の周年事業や記念誌発行等の経費を助成。 (上限額 10 万円)
4	地域の見守り支えあい助成金	15	690,000	善意銀行 共同募金	地域での訪問活動や子ども・地域食堂、居場所づくり等、気になる子ども、高齢者、世帯等に対し、見守り活動を実施する事業に対し助成。 (上限額 5 万円)

(3) 旭区地域活動団体等助成

区域を対象とした団体活動に対し、助成を行った。(3 団体、総額 73 万円)

(4) 令和 2 年度 助成金説明会

全 3 回実施予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止。

## 2 地域・関係機関・行政のネットワーク強化

### 地域ケアプラザとの連携

地域支援を進めるにあたり、密接な連携先である地域ケアプラザと、事業等実施にあたり様々な場面で打ち合わせ等を行い、連携を図った。

(1) ケアプラザ所長会への参加

日 程	⑤ 4 月 17 日(水) ② 6 月 19 日(水) ③ 8 月 21 日(水) ④ 10 月 16 日(水) ⑤ 12 月 16 日(水) ⑥ 2 月 19 日(水)
場 所	区役所外部会議室
人 数	13 地域ケアプラザ所長
内 容	(1) 区役所、区社協からの連絡 (2) 各テーマでの意見交換 等

(2) 地域活動交流コーディネーター連絡会 (毎月第 4 木曜日)

連絡会の事務局が区社協であることから、積極的に連携を図った。また、今年度より①毎月開催、②自主グループ活動の開始等があり、これまで以上に連携を深めた。

日 程	① 4 月 25 日 ② 5 月 23 日 ③ 6 月 27 日 ④ 7 月 25 日 ⑤ 8 月 22 日 ⑥ 9 月 26 日 ⑦ 10 月 24 日 ⑧ 11 月 28 日 ⑨ 12 月 26 日 ⑩ 1 月 23 日 ⑪ 2 月 27 日 ⑫ 3 月 26 日⇒新型コロナウイルスの影響により中止
場 所	鶴ヶ峰地域ケアプラザ
人 数	13 地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーター
内 容	(1) 区役所、区社協からの連絡 (2) 各部会報告 等

(3) 旭区地域包括支援センター連絡会への参加

日 程	連絡会：①5月14日(火) ②9月19日(木) 事務局会議：①4月25日(木) ②8月22日(木) ③10月24日(木) ④1月16日(木) ⑤2月20日(木)
内 容	(1)区役所、区社協からの連絡 (2)三職種分科会、地域包括研修会報告 (3)各種研修 11月15日(金)「高齢世帯におけるペット問題」 3月12日(木) 「地域包括支援センターと生活支援コーディネーターの連携について」 ※新型コロナウイルスの影響により中止

(4) 旭区地域包括支援センター 社会福祉士分科会への参加

日 程	①5月10日(金) ②7月12日(金) ③9月13日(金) ④11月8日(金) ⑤1月10日(金) ⑥3月3日(火)
内 容	(1)区役所、区社協からの連絡 (2)各委員会からの報告等

(5) 地域ケアプラザ運営協議会への参加

- 上白根地域ケアプラザ：2回(6月26日(水)、3月4日(水))※書面審議)
- 左近山地域ケアプラザ：2回(5月8日(水)、3月11日(水))※書面審議)
- 川井地域ケアプラザ：2回(6月26日(水)、3月19日(木))※書面審議)
- 若葉台地域ケアプラザ：2回(6月14日(金)、11月22日(金))
- 鶴ヶ峰地域ケアプラザ：1回(7月2日(火)、2月13日(木))
- ひかりが丘地域ケアプラザ：2回(5月17日(金)、2月28日(金))※書面審議)
- 南希望ヶ丘地域ケアプラザ：1回(3月19日(木))※書面開催)
- 今宿西地域ケアプラザ：2回(6月5日(水)、12月4日(水))
- 笹野台地域ケアプラザ：2回(5月30日(木)、11月28日(木))
- 白根地域ケアプラザ：2回(6月12日(水)、3月18日(水))※書面開催)
- 二俣川地域ケアプラザ：2回(6月13日(木)、2月6日(木))

(6) 地域ケア会議等の参加

区域や各ケアプラザが開催する関係会議(地域ケア会議や巡回相談等)への参加を行い、地域ケアプラザや区役所と連携し、個別相談の解決に向けて、地区の関係者との共有を図った。

- ①区域で開催された地域ケア会議への参加：1回
- ②各地域ケアプラザで開催された地域ケア会議への参加：3地域ケアプラザ、4回
- ③地域ケアプラザ・区役所との巡回相談への参加：2地域ケアプラザ、12回

## (7) 福祉教育座談会

福祉教育をどのように進めていくかを学ぶ機会として、また、福祉教育を進めるうえでの大切にすべきところ等について学んだ。

日 程	2月26日(水)
場 所	二俣川地域ケアプラザ
人 数	17人(地域活動交流コーディネーター12人、区役所2人、区社協3人)
内 容	講師：横浜創英大学 講師 平野 友康氏 (1) 昨年度の福祉教育座談会の振り返り (2) 福祉教育に取り組むために心がけること (3) 福祉教育を実践するためのプログラム例 (4) まとめ

## 関係機関との連携

地域支援を進めるにあたり、各関係機関と連携を図った。

### (1) 横浜市西部地域若者支援連絡会

第1回	日 程	9月17日(火)
	場 所	よこはま西部ユースプラザ
	内 容	(1) 子ども・若者支援施策に関する情報紹介 (2) 2019年度 よこはま西部ユースプラザの取り組み (3) 意見交換「若者の社会参加に必要なこと」
第2回	日 程	3月11日(火) ※新型コロナウイルスの影響により中止
	場 所	よこはま西部ユースプラザ
	内 容	(1) 今年度の取り組みと次年度に向けて (2) 若者支援や社会状況に関するトピック

### 3 福祉保健の啓発の推進

《重点事業》

(区負担金)(共同募金) 987 千円【1,018 千円】

「すべての区民が地域で支えあい、健康でしあわせな生活を送れるまち、旭区をつくろう」を基本理念とした第3期旭区地域福祉保健計画(きらっとあさひプラン)を、関係機関と連携し推進するとともに、地区別計画の推進を支援した。また、第3期計画の推進期間が令和2年度で終了することに伴い、第4期計画の策定に向けた検討を行った。

(1)第3期旭区地域福祉保健計画(平成28年度～令和2年度)の事務局を区役所・地域ケアプラザと協働で担い、計画の進行管理や地区別支援チームの支援を行うとともに、第4期計画(令和3年度～7年度)の策定に向けた検討を行った。

#### 【地域福祉保健計画事務局会議】12回

- ①4月9日(金) ②5月13日(月) ③6月14日(金) ④7月8日(月)  
⑤8月9日(金) ⑥9月13日(金) ⑦10月11日(金) ⑧11月8日(金)  
⑨12月6日(月) ⑩1月10日(金) ⑪1月27日(金) ⑫2月20日(木)

#### 【地域福祉保健計画推進会議】

地域福祉保健計画策定・推進・評価及び地域福祉保健施策の総合的な推進等を目的に開催した。

第1回	日 程	6月26日(水)
	場 所	区役所新館 大会議室
	人 数	14人(福祉・保健・医療関係団体代表者)
	内 容	(1)旭区内地域包括支援センターの運営について (2)旭区地域福祉保健計画について (3)本年度の福祉保健事業について
第2回	日 程	1月29日(水)
	場 所	区役所新館 大会議室
	人 数	14人(福祉・保健・医療関係団体代表者)
	内 容	(1)第4期きらっとあさひプラン(旭区地域福祉保健計画)策定状況について (2)第4期きらっとあさひプラン(旭区地域福祉保健計画)骨子案について (3)今後の策定スケジュールについて

#### 【第4期旭区地域福祉保健計画 策定検討部会】

地域福祉保健各分野における現状や課題について、実務者による検討を行った。

第1回	日 程	8月5日(月)
	場 所	区役所カンファレンスルーム
	人 数	7人(福祉・保健関係団体実務者)
	内 容	(1)第4期横浜市地域福祉保健計画について (2)第3期区計画の成果と課題及び第4期区計画で大切にしたいコンセプトについて (3)第4期地区別計画策定の流れについて (4)関係団体ヒアリングについて

第2回	日 程	10月28日(月)
	場 所	区役所外部特別会議室1
	人 数	9人(福祉・保健関係団体実務者)
	内 容	(1)意見交換「5年後の旭区がどのような地域になっていてほしいですか」 (2)第3回検討部会の内容(予定)について
第3回	日 程	11月22日(金)
	場 所	区役所外部特別会議室1
	人 数	9人(福祉・保健関係団体実務者)
	内 容	(1)第4期旭区地域福祉保健計画骨子案について (2)骨子案についての意見交換 (3)今後のスケジュール(予定)について
第4回	日 程	3月2日(月)
	場 所	区役所外部特別会議室2
	人 数	9人(福祉・保健関係団体実務者)
	内 容	(1)第2回旭区地域福祉保健推進会議について(報告) (2)骨子案について (3)今後のスケジュール(予定)について

#### 【きらっとあさひ地区連絡会】

目 的	第3期地域福祉保健計画地区別計画の推進状況の情報共有するとともに、第4期計画策定に向けて、より身近な地域での「支えあい・助け合い」の視点をさらに深めることを目的として開催。
日 程	9月18日(水)
場 所	福祉保健活動拠点
人 数	34人(19地区計画推進組織代表者等)
内 容	(1)報告・連絡事項(地域福祉保健計画推進研修について、第9回きらっとあさひ福祉大会について、区社協助成金について、きらっとあさひ地域支援補助金交付団体について) (2)説明(第4期計画の策定に向けて) (3)グループディスカッション テーマ「第4期計画策定に向けて～一人ひとりに向き合う地域づくり～」

#### 【地区別支援チーム 新任研修】

目 的	支援チームの新任者を対象として、地域福祉保健計画の概要および関係機関の役割等を理解することを目的として開催。
日 程	①5月23日(木) ②5月24日(金) ※①②とも同内容
場 所	区役所 カンファレンスルーム
人 数	30人(区役所・区社協・地域ケアプラザ職員)

【地区別支援チーム 全員研修】

目的	支援チームメンバーが地域支援の日常業務の関連性を認識し、相互の役割を理解することを目的として開催。
日程	①10月30日(水) ②10月31日(木) ③11月1日(金) ※①～③とも同内容
場所	区役所新館 大会議室
人数	106人(区役所・区社協・地域ケアプラザ職員)

【地区別支援チームリーダー連絡会】

目的	支援チームリーダーへ各地区の取組の振り返りの説明および情報提供等を目的として開催。
日程	第1回:①7月3日(水) ②7月5日(金) 第2回:①12月12日(木) ②12月16日(月)
場所	区役所 カンファレンスルーム他
人数	第1回 27人、第2回 37人(区役所職員)

(2) 区役所・地域ケアプラザとともに構成する「地区別支援チーム」の一員として19地区連合町内会エリアごとに策定した地区別計画の推進を支援した。

○地区別計画推進会議：64回参加      ○地区別支援チーム会議：46回参加

(3) 旭区地域福祉保健計画推進研修(旭区社協会員向け研修)の開催【第1弾】

地域共生社会の実現に向けて、求められる地域づくりや活動を進めるにあたってのヒント、地域と支援機関との連携等について講演会、パネルディスカッションを開催した。

日程	7月19日(金)
場所	旭公会堂 ホール
人数	179人
内容	<p>1. 講演会：「地域共生社会の実現に向けた地域づくり」 講師：ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明氏</p> <p>2. パネルディスカッション 区内の実践事例の発表と講師からのアドバイス</p> <p>①地域の中のみんなの居場所 ～ごとうさんち食堂が目指すもの～ 後藤智氏、後藤喜代子氏(ごとうさんち食堂)</p> <p>②これからの時代に合わせた新しい形の地域活動へ ～お茶べりサロン「さんさん」の取り組み～ 宮寺良孝氏、熊倉和枝氏、福本留美子氏 (二俣川ニュータウン地区社会福祉協議会)</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 講師の和田先生</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲ パネルディスカッション</p> </div> </div>

(4) 旭区地域福祉保健計画推進研修（旭区社協会員向け研修）【第2弾】

TV、新聞等で話題となっている「8050問題」についての研修会。

※新型コロナウイルスの影響により中止

日 程	3月6日（金）
場 所	旭公会堂 ホール
内 容	1. 講演会「8050問題を考える ～ルポの現場から～」 講師：池上 正樹氏（ジャーナリスト） 2. パネルディスカッション 「旭区における8050問題 ～当事者と現場の声を聴く～」

(5) 第9回きらっとあさひ福祉大会の開催

地域福祉保健計画の周知および推進を目的として、地域で取り組まれている福祉保健活動を知っていただくとともに、地域の方々の福祉保健への関心を高めるために開催した。

日 程	2月8日（土） 【第1部】オープニングアクト、主催者挨拶、表彰式典 【第2部】報告、実践報告 活動紹介コーナー・障害者作業所等出店
場 所	旭公会堂
人 数	387人（受賞者27人、一般来場者267人、協力員18人、出展団体46人、関係者29人）
主 催	旭区社会福祉協議会、旭区連合自治会町内会連絡協議会、旭区役所
内 容	【第1部】 1. オープニングアクト（鶴ヶ峰もえぎさくらによるダンス披露）  ▲ オープニングアクト 2. 表彰式典 《地域福祉功労(16件)》敬称略 小金井 久美子、若松 康子、富田 順子、佐藤 勝彦、金平 光雄、 鈴木 泰子、山崎 和代、山本 花江、井澤 まさ子、内村 君代、 松久保 堅左右、麻生 るみ子、津谷 敏子、ケアサポート「野の花」、 おふくろの味サロン、小出 洋造  《寄付金品功労(14件)》敬称略 伊藤 志壽江、荻窪 邦昭、旭区女性団体連絡協議会、あさひ茶花道協会、 旭区チャリティーゴルフ大会実行委員会、旭区舞踊協会、 公益社団法人 神奈川県LPガス協会 横浜旭保土ヶ谷支部、 都岡町内会 チャリティー餅つき大会、ヘアメイク ファンジョン、 一般社団法人 保土ヶ谷青色申告会、横浜旭ライオンズクラブ、 明るい社会づくり運動旭区協議会、旭ジャズまつり実行委員会、 神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部

《特別功勞(7件)》敬称略

森 恵美子、野口 雪江、奥村 利夫、小川 紘司、金子 晴夫、  
野口 隆能、深間 敏章



▲ 表彰式典

【第2部】

1. 報告「きらっとあさひプラン（旭区地域福祉保健計画）第3期振り返りと第4期策定に向けて」

【報告者】岡田 朋子氏（旭区地域福祉保健推進会議委員、  
第4期旭区地域福祉保健計画策定検討部会委員）



▲ 報告

2. 実践報告「孤立死0（ゼロ）を目指して～羽沢プロジェクトの取組～」

【発表者】

岐部 文明氏（神奈川県羽沢地区自治連合会会長）

和田 勝己氏（神奈川県羽沢地区社協会会長）

長谷川 静江氏（神奈川県羽沢三枚地区民児協会会長）

【コーディネーター】

平野 友康氏

（横浜創英大学 講師、本会ボランティアセンター運営委員長）



▲ 実践報告

3. 活動紹介コーナー

第3期地域福祉保健計画地区別計画のパネル展示(19地区)

障害地域作業所製品の販売、喫茶コーナー

# 福祉理解の増進と情報の収集・提供

(共同募金) 2,828 千円【3,549 千円】

広く区民に向けて、福祉への理解を深め関心を高められるよう、積極的な広報啓発を行った。

## (1) 「あさひいきいき宣言(旭区社協だより)」の作成・発行

### 【あさひいきいき宣言】

年3回 93,000部 全戸配布

第101号(7月発行)

特集: 私たちにできることは?

～一人ひとりの「やってみる」でつながる地域共生社会～

第102号(11月発行)

特集: 自分たちのできること～企業の社会貢献をきっかけに広がるつながり～

第103号(3月発行)

特集: 共に支えられ生きていく～福祉教育から育まれる福祉の心～



## (2) ホームページの運営、更新

ホームページの管理運営を行い、随時更新、最新情報を発信した。

(ホームページ更新回数およびアクセス数)

更新回数: 18回 アクセス数: 29,910件



## (3) バリアフリーカレンダーの作成・配布

障害者・高齢者への理解を深めるため、区内小学校・特別支援学校から絵画を募集し、心のバリアフリーカレンダーを作成し、各自治会町内会等へ配布した。また、心のバリアフリー作品展を開催した。

参加学校数: 14校 参加人数: 74人

(心のバリアフリー作品展)

- ・福祉保健活動拠点ばれっと旭  
12月2日(月)～12月13日(金)
- ・区役所ロビーギャラリー  
1月7日(火)～1月10日(金)



(4) ロゴマークの活用

「地域共生社会の実現」をテーマとして掲げ、広く関係団体や区民に啓発した。



(5) 第30回区民まつり

共同募金、地域共生社会のPRを目的として、区社協ブースを設けた。

日 程	10月20日(日)
場 所	旭区役所駐車場スペース
内 容	(1)共同募金PR (2)区社協クイズ

**旭区福祉保健活動拠点の運営**

(市受託金収入) (負担金収入) 14,760 千円【14,450 千円】

地域福祉・ボランティア活動の推進拠点である「旭区福祉保健活動拠点」の適正な管理運営を行った。(指定管理期間：平成 28 年度～令和 2 年度)

(1) ボランティアからの相談受付等を行い、福祉保健活動拠点を活用したボランティアの発掘および活動育成を行った。

(2) 貸室業務を通して利用団体の活動内容、活動上の課題などを把握し支援した。

【登録団体数】 138 団体

**【利用状況】**

平日	利用件数(件)			利用率(%)		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	327	310	146	65.0	62.5	48.8
多目的研修室	132	136	130	55.0	56.3	54.2
点字製作室	156	93	22	65.0	38.3	9.2
録音室	35	29	3	14.6	12.1	1.3
対面朗読室	115	115	127	47.5	47.9	52.9

土	利用件数(件)			利用率(%)		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	29	16	4	36.0	22.0	6.0
多目的研修室	19	18	44	38.0	36.0	88.0
点字製作室	4	2	1	8.0	4.0	2.0
録音室	5	8	0	10.0	16.0	0
対面朗読室	9	8	0	18.0	16.0	0

日祝	利用件数(件)			利用率(%)		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	28	24		34.3	25.7	
多目的研修室	16	16		22.9	22.9	
点字製作室	15	5		21.4	7.1	
録音室	7	9		10.0	12.9	
対面朗読室	8	11		11.4	15.7	

(3) 窓口度満足調査や利用団体懇談会を通し、拠点利用者へのサービス向上に努めた。

**【窓口度満足調査】**

実施期間	11月1日(金)～11月30日(土)
回答者	94人
主な意見	① 手話の対応のできる職員がいると助かる。 ② 相談ごとには親切に聞いて頂いてありがたく思っています。
改善宣言	① 窓口ホワイトボードを置くなど、コミュニケーションの方法の工夫をします。 ② 利用者みなさまが気持ちよくご利用できるように、引き続き丁寧な対応を心がけます。

**【利用団体懇談会】※新型コロナウイルスの影響により中止**

日程	3月19日(木)
場所	福祉保健活動拠点
人数	—
内容	(1) 窓口満足度調査の報告について (2) 令和2年度の福祉保健活動拠点の利用について (3) その他 ※開催中止通知とともにアンケートを実施。 (内容：拠点設備等運営について) アンケート集計結果 (41枚/138枚 回収)

## <推進の柱2：安心して自分らしい生活ができる地域づくり>

### 支援を必要とする人が的確に支援へつながる仕組みをつくる

#### 1 見守り体制の充実、孤立予防

深刻かつ見えにくい課題を抱える人たちを身近な地域内で発見し、地域課題として捉え、その解決に取り組む仕組みづくりを進めた。

#### 相談機能の充実

(1) 区役所や地域ケアプラザ、専門機関より受けた相談に対し、各機関と連携を図り解決に向けて対応した。また、各事業に限定されない総合窓口として対応し、区社協内の各事業で把握した相談に対し、地区担当職員を通じて該当する地区の地区社協や地区民児協等へ内容を共有し、課題解決に向けた取組を進めた。

総合相談チームと地域支援チームの連携件数：29件

(2) 各機関等で開催された研修参加等により、職員の相談対応力の強化を図った。

#### 移動情報センターあさひの運営

移動情報センター運営（市受託金収入） 7,842千円【7,552千円】

ガイドボランティア事業（市補助金収入）2,343千円【3,182千円】

(1) 障害児・者にとって生活上大きな課題となり得る「移動」について、情報を一元的に収集・発信するとともに、当事者やその家族からの相談に応じ、支援を行った。

【相談件数】291件 《内訳》

障害種別	件数	障害種別	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
身体障害	82	知的障害	104	通院	76	余暇	47
精神障害	19	重複障害	35	通学・通所	129	制度説明	23
その他(高齢)	51			その他	16		

(2) 移動情報センター推進会議を開催した。

第1回	日程	5月24日(金)
	場所	福祉保健活動拠点
	人数	21人
	内容	(1) 平成30年度移動情報センターあさひ 相談内容の状況について (2) ガイドボランティア活動状況について (3) 令和元年度移動情報センターあさひ年間計画(案)について
	結果	(1)(2) 報告した。(3) 説明した。
第2回	日程	10月25日(金)
	場所	福祉保健活動拠点
	人数	18人
	内容	(1) 移動情報センターあさひ 第1、第2四半期実績報告について (2) 未解決・困難ケースの検討
	結果	(1) 報告した。(2) 検討した。

第3回	日 程	2月21日(金)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	19人
	内 容	(1) 移動情報センターあさひ 第3四半期実績報告について (2) ケース検討について (3) 令和2年度移動情報センターあさひ年間計画(案)について
	結 果	(1) 報告した。(2) 検討した。(3) 説明した。

(3) ガイドボランティアの育成および活動支援を行い、ボランティアの確保に努め、移動支援をきっかけとした地域のつながりをつくるコーディネートを行った。

ガイドボランティア登録者	98人	前年度：73人
ガイドボランティア支援対象者	81人	前年度：49人

(4) ガイドボランティア交流会の開催

第1回	日 程	8月28日(水)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	11人
	内 容	・支援中の困りごとへの対応について 講師：市立若葉台特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 中村 一樹氏 ・情報交換会(グループディスカッション)
第2回	日 程	1月31日(金)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	10人
	内 容	今年度の振り返りと来年度に向けた情報交換

(5) 新たなガイドボランティアの育成を目的に、障害理解講座を開催

第1回	日 程	7月31日(水)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	15人
	内 容	ボランティアのための車椅子入門講座 講師：横浜市上白根地域ケアプラザ 生活支援コーディネーター・介護福祉士 上野 久美子氏 社会福祉士・介護福祉士 横内 美千代氏
第2回	日 程	3月10日(火) ※新型コロナウイルスの影響による中止
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	—
	内 容	～障害ってなんだろう 視覚障害者の誘導の仕方を学ぶ～ ①講義・視覚障害者の誘導方法の説明 ②誘導體験

## 地域ぐるみで子育て支援

(1) 子ども食堂、学習支援など旭区内における子どもが参加できる居場所リストを作成し、ホームページ等で情報提供を行った。

(2) 区内子育て関係会議および学習会等に参加した。

### 【旭区子育て支援連絡会】

第1回	日 程	6月12日(水)
	場 所	区役所3階 カンファレンスルーム
	内 容	(1) 令和元年度の活動計画について (2) 意見交換「各団体とどのように連携し、協力しあえるか」
第2回	日 程	3月6日(金) ※新型コロナウイルスの影響により中止
	場 所	区役所3階 カンファレンスルーム
	内 容	(1) 令和元年度活動の振り返り (2) 令和元年度子育て支援連絡会の活動にむけて

### 【旭区児童虐待・DV防止連絡会】

第1回	日 程	7月12日(金)
	場 所	区役所公会堂第1・2会議室
	内 容	(1) 旭区要援護児童対策地域協議会のしくみについて (2) 西部児童相談所・区福祉保健センターからの報告 (3) 情報交換「関係機関との連携について」
第2回	日 程	1月28日(火)
	場 所	区役所新館大会議室
	内 容	(1) 講演「子どもたちの“からだと心”の「今」を考える ～各年代に合わせ地域ができること～」 講師 日本体育大学 教授 野井 真吾氏

## 個別事案対策に向けた取組

(1) 認知症高齢者支援事業(認知症SOSネットワーク)について、協力団体として行方不明者の搜索、情報提供を行った。

## 2 権利擁護事業の推進

### 旭区社協あんしんセンターの運営

【権利擁護事業】 (市社協委託料) (利用料収入) 971 千円 【1,156 千円】

福祉サービスの利用や金銭出納などが困難な高齢の方や障害のある方を対象とし、日常生活や金銭管理など幅広く権利擁護に関する相談を受けるとともに、下記のサービスを実施した。

- ①福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス
- ②預金通帳など財産関係書類等預かりサービス

内容		実績	前年度
初回相談件数(件)		68	70
サービス	定期訪問・金銭管理サービス 件数(件)	99	88
	預かりサービス件数(件)	15	13
利用者総数(人)		99	102
新規利用者数(人)		20	40
終了利用者数(人) ※		15	17
活動件数(件)		5,686	5,286

※当年度内に契約し終了した利用者や、預かりサービスの終了者を含む

#### 【市民後見人養成・活動支援事業】

横浜生活あんしんセンターと連携し、市民後見人育成および活動支援を行った。

- (1)市民後見人登録者との面談の実施 2回
- (2)旭区内市民後見人バンク登録者 3人(後見人受任者)

#### 【権利擁護事業・成年後見制度普及啓発】

日程	内容・対象
5月20日(月)	成年後見制度説明(まどか工房 家族会)
9月9日(月)	後見制度の基礎知識(郵便局職員)
10月15日(火) 10月24日(木)	横浜銀行認知症サポーター養成講座 権利擁護事業説明 (横浜銀行鶴ヶ峯支店)
10月23日(水) 10月26日(金)	横浜銀行認知症サポーター養成講座 権利擁護事業説明 (横浜銀行二俣川支店)
11月6日(水)	エンディングノート講座 権利擁護事業説明 (若葉台地域ケアプラザ)
11月9日(土)	エンディングノート講座 権利擁護事業説明 (上白根地域ケアプラザ)
12月7日(土)	権利擁護事業説明(横浜西部就労支援センター)
1月30日(木)	エンディングノート講座 権利擁護事業説明 (南希望が丘地域ケアプラザ)

### 【成年後見サポートネットへの参加】

日 程	① 7月 23 日(火) ② 10月 9 日(水) ③ 2月 5 日(水)
場 所	区役所
内 容	①・相談状況の報告について ・事例検討「親亡き後に精神障害がある方の区長申立について」 ②法テラス業務説明 ③次年度の成年後見サポートネットについて

### 【成年後見サポートネット分科会の開催および参加】

日 程	8月 29 日(木)
場 所	福祉保健活動拠点
内 容	・市民後見人が受任しているケースや関連するケース等についての事例検討 ・関連する各種制度についてのミニ講座 ・各専門職種（弁護士等）より制度や支援方法等の説明

## 3 災害時における要援護者の支援体制の充実

### 災害ボランティア連絡会の活動支援

災害時のボランティアコーディネートを円滑に行うための啓発・人材育成・関係団体とのネットワーク構築を担う組織「災害ボランティア連絡会」定例会や各訓練等に参加し、情報共有及び活動支援を行った。また福祉避難所訓練会や防災のつどいに参加した。

## 4 生活に困難を抱える方々への支援

### おでかけ支援（送迎サービス）事業の推進

委託事業：（市社協委託料）（利用料収入） 3,675 千円 【3,630 千円】

区社協独自事業：（利用料収入） 573 千円 【 419 千円】

旭区内の在宅の高齢者、難病患者、障害者でひとりでは公共の交通機関を利用した外出が困難な方を対象に、運転ボランティアとの協働により福祉有償運送（関神福第 147 号）として車椅子対応の車両での送迎を行った。

### 【活動実績】

委託事業	利用者数	利用回数
	86 人	590 件
区社協独自事業	利用者数	利用回数
	39 人	349 件

【ボランティア登録者数】 17 人

【ボランティア向け研修】

日 程	①11月16日(土) ②12月9日(月)
場 所	①福祉保健活動拠点 ②保土ヶ谷区福祉保健活動拠点
人 数	①12人 ②21人(うち旭区3人)
内 容	①研修会「認知症について」 講師：横浜市キャラバンメイト旭区ひまわりの会 連絡会「実績報告、事故報告、確認事項等」 ②研修会「安全運転について・高齢者の運転について」 講師：保土ヶ谷警察署 連絡会「活動中にヒヤリとしたこと」グループワーク 保土ヶ谷区・瀬谷区・泉区・栄区・戸塚区との合同開催

## 要援護世帯への支援

(県社協受託金収入) 3,485千円【3,537千円】

生活課題等を抱えている要援護世帯等の支援を行った。また、当該事業の対象にならない世帯についても生活課題の解決に向け、他事業の紹介や他機関につなげるなどの支援を行った。また、区社協内各事業とも情報を共有し、生活課題の解決に向けた必要なサービスへ繋げた。

### (1) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯や高齢者・障害者世帯などの自立支援を図ることを目的に相談を受け付け、資金の貸付条件をもとに貸付につなげた。また、償還の相談対応や手続きに関する支援を行った。

	相談件数	貸付決定件数	貸付金額(円)
総合支援資金貸付	16	0	0
臨時特例つなぎ資金貸付	0	0	0
緊急小口資金貸付(特例含む)	556	1	200,000
福祉資金(教育支援資金等)	901	48	16,037,034
不動産担保型生活資金	79	0	0
生活福祉資金以外の制度	98		
合 計	1,650	49	16,237,034

### (2) 生活困窮者自立支援施策における区役所との連携

様々な事情により生活することが困難になっている方の状況に応じ、自立支援に向けてセーフティネット会議等を通じて区役所、関係機関と連携をし、解決に向けた支援を行った。

○セーフティネット会議：3回

### (3) 生活困窮者への食糧等の支援

○セカンドハーベストジャパン、フードバンク神奈川を活用した食料支援：32件

#### (4) 説明会・研修会の開催

##### ①教育支援資金説明会

4区内中学校・高等学校（旭区・保土ヶ谷区・瀬谷区・泉区）を対象に、進路指導担当教諭へ教育支援資金の説明会を開催した。

日 程	8月8日（木）
場 所	保土ヶ谷区福祉保健活動拠点
人 数	15人（中学校12校、高等学校3校）
内 容	（1）教育支援資金について （2）申請までのスケジュールについて （3）他制度との関係について

##### ②生活困窮者支援研修会

生活困窮者支援を通じて、地域づくりの視点を学び、困窮者支援に携わる関係機関の連携による地域支援の方法について研修会を開催した。

第1回	日 程	1月15日（水）
	場 所	福祉保健活動拠点 2階 多目的研修室
	人 数	34名 （地域CP包括支援センター職員 12名、区社協第1種会員（区内ライフサポート事業実施施設他）8名、よこはま西部ユースプラザ2名、区役所生活支援課、健康福祉局生活支援課6名、区社協 6名）
	テーマ	生活困窮者支援における関係機関連携を目指して
	内 容	1 事業説明・事例報告 （1）生活困窮者自立支援制度について （2）かながわライフサポート事業について （3）生活福祉資金、食支援等について 2 グループでの話し合い テーマ：困窮者支援について感じていること 関係機関の連携について感じていること
第2回	日 程	3月11日（水） ※新型コロナウイルスの影響により中止
	場 所	区役所 外部会議室
	人 数	—
	テーマ	「孤立や生きづらさへのアプローチ ～一人ひとりの生活を支える支援と地域の力を高める支援～」 講師：文京学院大学 准教授 中島 修氏
	内 容	（1）講義 生活困窮者支援を通じた地域づくりとは 関係機関との連携による地域支援について 等 （2）演習 事例をもとにしたグループディスカッション

(5)火災等の災害罹災世帯への見舞金を交付した。

○30件 175,000円

(6)低所得者法外援護事業の実施

公的または私的な援護が受けられず一時的に困窮し、かつ緊急な援護を必要とする方に対し、低所得者法外援助費を支給した。

○12件 9,950円

## <推進の柱3：地域の取組で元気カアアップ>

幅広い市民参加から地域福祉保健の取組が広がる仕掛けをつくる

### 1 意欲や経験を発揮できる場と出番づくり

#### ボランティアセンターの事業推進

(市受託金)(共同募金) 1,220千円【1,574千円】

ボランティア活動を推進するため、ボランティアの育成やコーディネート、情報発信等に関係機関と連携しながら充実、強化した。

(1) ボランティア相談対応や調整、登録者情報の管理を行った。

#### 【相談調整】

依頼件数	依頼件数(件)	紹介件数(件)	紹介人数(人)	調整数(回)
児童	5	1	1	17
障害	56	26	97	759
高齢	151	37	126	1,200
外国人	0	0	0	0
限定せず	4	1	5	94
その他	12	10	23	158
合計	228	75	252	2,228

#### 【登録者数】 ※登録者の更新を実施

個人	314(うち新規 68)人	前年度：783人
団体	133(うち新規 54)団体	前年度：95団体

#### 【ニーズ対応率】

R1	32%
H30	58%

(2) ボランティア活動の周知及び促進を図るため、「あさボラ通信」「会員施設ボランティア募集一覧」を発行した。また、区社協ホームページや広報紙「あさひいきいき宣言」等で情報提供を行った。

#### 【「あさボラ通信」の発行】

発行回数	発行部数	内容
3回 (7・9・2月)	各 2,000部	ボランティア募集案件、ボランティア受入れ施設紹介、登録ボランティア活動レポート等

#### 【「会員施設ボランティア募集一覧」の発行】

発行回数	発行部数	内容
3回 (7・9・2月)	各 1,500部	会員施設のボランティア募集一覧、ボランティア活動のポイント等

(3) 新たなボランティアの育成及び登録ボランティアのフォローアップを目的に、講座を実施した。

①「ボランティアのための車椅子入門講座」(移動情報センター障害理解講座と共催。詳細はP22)

②「傾聴ボランティアを始めたい方への傾聴入門講座」

日 程	9月7日(土)・9月21日(土)
場 所	福祉保健活動拠点
人 数	20人
内 容	1日目：傾聴とは？傾聴の基本的態度、傾聴の技法について 2日目：傾聴技法を使つてのロールプレイ、グループワーク 講師：日本産業カウンセラー協会 神奈川支部 地域連携委員会 小西 裕美氏 他 ※1日目と2日目の間に希望者による共催先の傾聴ボランティア活動の見学を実施
共 催	旭ふれあいコール、旭区地域生活支援センターほっとぽっと

(4) 施設のボランティア担当者を対象に、ボランティアを受け入れるにあたって、コーディネートの基礎知識やボランティアを受け入れる意義などを学んだ。

日 程	2月25日(火) 13:30~16:30
場 所	福祉保健活動拠点
人 数	14人
内 容	(1) 講義 「施設のボランティア担当者のためのボランティア受入講座」 ～ボランティアが活動しやすい環境づくりのために～ 講師：横浜創英大学 教授 小野 智明氏 (2) ボランティア受入れに関する個人ワーク・グループワーク

(5) 福祉関連物品の貸出・整備を行った。

名称	貸出件数
車イス	84
高齢者擬似体験セット	21
アイマスク	5
白杖	6
点字器	9

(6) 助成金に関する情報収集・情報提供

他団体の助成事業や民間の助成金等の情報収集を行い、情報提供を行った。

(7) ボランティアセンター運営委員会を開催した

第1回	日 程	7月22日(月)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	6人
	内 容	(1) 委員長の選出について (2) 平成30年度旭区ボランティアセンターの事業報告について (3) 令和元年度旭区ボランティアセンターの事業計画・取組について (4) 旭区ボランティアセンターの目指すべき方向性について
	結 果	(1) 選出された。(2)(3) 承認された。(4) 協議した。
第2回	日 程	11月25日(月)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	4人
	内 容	(1) 令和元年度旭区ボランティアセンターの事業報告(上半期)について (2) 旭区ボランティアセンターの目指すべき方向性について
	結 果	(1) 説明した。(2) 協議した。
第3回	日 程	2月18日(火)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	5人
	内 容	(1) 令和2年度旭区ボランティアセンターの事業計画(案)について (2) 令和元年度善意銀行寄付状況及び令和2年度善意銀行配分計画について
	結 果	(1)(2) 承認された。

## 福祉教育(啓発)の推進

地域共生社会の実現に向けて、様々な世代が福祉への意識を高められるよう福祉教育に取り組んだ。

### 【相談対応件数】(P57参照)

種別	依頼 件数 (件)	対応 件数 (件)	コマ 数 (日)	調整数 (回)	延べ 参加者数 (人)	内容
小学校	19	19	24	326	2,768	視覚障害者による講話 他
中学校	2	1	1	46	119	認知症理解 他
高校	1	1	1	4	33	ボランティア、区社協について
企業	2	2	2	8	33	高齢者擬似体験・車いす体験 他
地域	0	0	0	0	0	
合計	24	23	28	384	2,953	

#### 《協力団体》順不同

横浜市キャラバンメイト旭区ひまわりの会、横浜市聴覚障害者福祉協会、View-Net 神奈川、旭かけはし、双葉会支援グループ、おりしす会、NPO 法人活動ホームふたまたがわ、横浜市立ろう特別支援学校、各地域ケアプラザ、各地区民生員児童委員協議会、各地区社会福祉協議会、各自治会町内会、各地区老人クラブ 他

#### 【福祉教育連絡会の開催】

学校が福祉教育を企画するにあたり、大切な視点や考え方を学び、情報提供を行うことを目的として開催した。また、区内地域ケアプラザと連携し、担当者と教員の顔合わせを行った。

日 程	8月20日(火)
場 所	福祉保健活動拠点
人 数	20人
内 容	(1) 講演：「障害って何だろう？障害はどこにあるんだろう？ ～子ども達に伝えたい障害の捉え方～」 講師：特定非営利活動法人 神奈川県視覚障害者情報雇用福祉ネットワーク（通称：View-net 神奈川）副理事長 新城 直氏 (2) 説明：地域で進める福祉教育 ～区社協の実践事例を通して～ (3) 説明：横浜市地域ケアプラザとは (4) 参加者による意見交換

#### 【研修会の開催】

「先生のための福祉講座」（市社協、18区社協、教育委員会の共催）

教員が地域福祉や当事者への理解を深め、今後の学校教育に活かせる視点等を習得することを目的として開催した。

日 程	8月19日(月)
場 所	横浜市健康福祉総合センター
人 数	31人（うち旭区から1名）
内 容	(1) 導入講座「福祉とは、福祉教育とは」 「福祉教育を通して子どもたちの社会参画を促すために」 講師：学習院大学 教授 長沼 豊氏 (2) 事例紹介 市内の福祉学習事例紹介（栄区・瀬谷区） (3) 社会福祉協議会とは (4) 福祉機材ワークショップ (5) まとめ

#### 【ジュニアボランティア活動支援】

区役所と民生児童委員協議会と連携し「ジュニアボランティア」の活動について支援を行い、「ジュニアボランティア体験感想文集」を発行した。

## 障害児・者が安心できる暮らしを目指した支援

障害児・者が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、関係機関と連携し、その実現を目指した。

### (1) 旭区地域自立支援協議会への参加

#### 【各会議への参加】

会議名	日程
事務局会議	① 4月9日(火) ② 5月14日(火) ③ 6月11日(火) ④ 7月9日(火) ⑤ 8月13日(火) ⑥ 9月10日(火) ⑦ 10月8日(火) ⑧ 11月12日(火) ⑨ 12月10日(火) ⑩ 1月14日(火) ⑪ 2月18日(火)
代表者会議	① 6月20日(木) ② 1月10日(金)
定例会	① 4月17日(水) ② 7月24日(水) ③ 10月16日(水) ④ 1月15日(水)
日中活動支援部会 当事者シンポジウム	① 12月5日(木) ② 2月6日(木)
旭区地域生活支援 フォーラム実行委員会	① 8月1日(木) ② 8月20日(火) ③ 9月17日(火) ④ 10月17日(木) ⑤ 11月19日(火) ⑥ 12月18日(水)

#### 【あっぱれフェスタの共催】

区内の障害者作業所の周知を目的として、パネル展示や自主製品の販売等を行った。

日 程	① 7月4日(木) ② 7月5日(金) ③ 7月6日(土)
場 所	①②福祉保健活動拠点 ③旭公会堂
内 容	①②作業所製品販売、喫茶コーナー、作業所紹介パネル展示 ③D-1 グランプリ(障害当事者による舞台発表)

#### 【旭区地域生活支援フォーラムへの共催】

障害理解への周知を目的に講演と事例発表、作業所製品販売を行った。

日 程	12月7日(土)
場 所	旭公会堂
内 容	①基調講演「ともに生きる・輝く社会に」 講師：野沢 和弘氏 (元毎日新聞論説委員) ②事例報告&意見交換

## 企業の社会貢献活動

- (1) 障害のある方々（障害者地域作業所利用者）のヘアメイクを実費にて実施。  
 売上げは善意銀行へ寄付。

店舗名	ヘアメイク ファンジョン（二俣川）
実施日	毎月第4火曜日（店舗定休日）
利用者数	のべ50人

- (2) 地域における見守り活動を進めるために、地区民生委員児童委員協議会と読売新聞、朝日新聞の各販売店が連携し、緊急時に連絡を取り合う体制を構築した。

地域団体	新聞販売店
二俣川ニュータウン地区民児協	読売新聞二俣川サービスセンター 読売新聞三ツ境サービスセンター 読売新聞川井都岡サービスセンター ASA（朝日新聞）三ツ境北部店
若葉台地区民児協	読売新聞川井都岡サービスセンター
笹野台地区民児協	ASA（朝日新聞）三ツ境北部店

## 善意銀行事業

地域のみなさま（区民・団体・企業等）からの寄付（金品・物品）を受け付けた。配分にあたっては、ボランティアセンター運営委員会に諮り、配分を行った。

※金品寄付者の詳細についてはP58参照。

### 【寄付金の受入】

繰越金(円)	寄付件数(件)	寄付額(円)	配分額(円)	配分残額(円)
9,940,355	27	823,286	4,607,400	6,156,241

### 【寄付金の配分】（一部新規）

	用途	件数	金額(円)	配分先
1	ふれあい助成金	32	3,321,400	要援護者支援区分の集いの場事業及び家事生活支援団体
2	ふれあい助成金 激変緩和措置	14	270,000	区社協会員が対象。ふれあい助成金の制度変更に伴い、同じ事業で助成額が減額となる団体。
3	ボランティア備品 購入	5	355,000	区社協第6種会員を対象に、活動で使用する備品を購入する団体。
4	周年事業・記念誌発行等助成金	4	371,000	区社協会員が対象。団体・施設の周年事業や記念誌発行等を行う団体。
5	地域の見守り支え あい助成金	15	690,000	地域での訪問活動や子ども・地域食堂、居場所づくり等、気になる子ども、高齢者、世帯等に対し、見守り活動を実施する団体。
6	交通遺児奨励金	2	100,000	卒業を迎えた交通遺児。

## 【物品の受入】

No	寄付者名	寄付品	配分先
1	神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部	理容福祉券	障害当事者：223 件
2	旭ジャズまつり実行委員会	旭ジャズまつり入場券	区内障害施設・障害団体：11 団体（計 50 枚）
3	明るい社会づくり運動旭区協議会	車いす等介護物品	介護老人保健施設 四季の森、グループホームみんなの家・横浜金が谷、サポートセンター連

## 新あさひみらい塾の開催

（負担金収入）900 千円【900 千円】

身近な困りごとや生活課題に寄り添い、支えあいながら住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくことのできる社会の実現に向けて、区民が地域活動における認識を深めることを目的に実施した。（旭区区政推進課との協働事業）



内容等（受講者 18 人：10 地区の連合自治会長、地区社協からの推薦者）

回	日時	内容・会場・講師等	受講者数
1	9 月 13 日（金）	開校式 講義：「地域共生社会における地域づくりと防災」 演習：自己紹介、受講者同士のディスカッション 【講師】社会福祉法人中央共同募金会 常務理事 渋谷 篤男氏	17
2	10 月 8 日（火）	実践者から学ぶ①：東京防災隣組の事例紹介 「久が原南自治会（東京都大田区）」の取り組み 【ゲストスピーカー】久が原南自治会会長、民生委員	14
3	10 月 24 日（木）	先駆的な活動について（視察①） 「久が原南自治会（東京都大田区）」	15
4	11 月 8 日（金）	実践者から学ぶ②：自治会が取り組む福祉活動 「羽沢地区（神奈川区）」の福祉活動 【ゲストスピーカー】羽沢地区連合町内会長、自治会長 地区社協会長、民児協会長、	13
5	12 月 9 日（月）	先駆的な活動について（視察②） 「羽沢自治町内会（神奈川区）」	14
	12 月 19 日（木）	先駆的な活動について（視察③） 「宮向自治会（神奈川区）」	11

6	1月14日(火)	講義 演習(みらいプラン作成)・ 振り返り 閉校式 【講師】社会福祉法人中央共同募金会 常務理事 渋谷 篤男氏	15
		昼食会(交流会)	10

各講座開催にあたり、生活支援コーディネーターも参加した。

# 法人運営

## 1 区社協の基盤整備の推進

(1) 区社協の基盤強化のための会員拡充を進めた。

令和元年度入会 5 団体 令和元年度退会 10 団体

会員向け助成金制度の導入により新規会員の増につながった。一方、団体の解散に等により、退会も多くあった。

### 【会員数】

第1種(施設)	83	第6種(ボランティア団体)	52
第2種(民児協)	20	第7種(福祉団体)	26
第3種(地区社協)	19	第8種(行政)	4
第4種(自治会・町内会)	19	第9種(学識)	2
第5種(当事者団体)	30	合計：255 (前年度 260)	

(2) 賛助会費の募集

各地区連合自治会町内会の協力のもと各地区社会福祉協議会と協働で実施した。

○総額：5,204,650 円 (19 地区総額・目安額：1 世帯 70 円)

(3) 福祉基金の積立・活用

事業における財源を確保するため、福祉基金の積立と運用を行った。

○基本原資

公共債	30,000,000
公共債預り金	10,000,000
定期・定額貯金	25,953,900
普通預金	14,000,134
合計	79,954,034

○運用収入

福祉基金運用収入	846,934
----------	---------

(4) 市民からの提案、苦情解決への対応

市民からの提案 0 件 苦情 0 件

## 2 理事会・評議員会・分科会・委員会の開催

### 【理事会】6回

第1回	日程	6月5日(水)
	場所	福祉保健活動拠点
	人数	理事8人(定数:11人) 監事2人
	内容	(1) 平成30年度旭区福祉保健活動拠点(指定管理者)事業報告および収入支出決算報告について (2) 平成30年度旭区社会福祉協議会 事業報告および収入支出決算について (3) 評議員選任・解任委員会委員の選任について (4) 評議員選任・解任委員会の招集について (5) 評議員選任候補者の推薦について (6) 定時評議員会の招集について (7) 任期満了に伴う監事候補者の選定について
	結果	(1)～(7)承認された。
第2回	日程	6月20日(木)
	場所	福祉保健活動拠点
	人数	理事9人(定数:12人)、監事3人
	内容	(1) 社会福祉法人横浜市旭区社会福祉協議会会長の選定について (2) 社会福祉法人横浜市旭区社会福祉協議会副会長の選定について (3) 顧問の選任について
結果	(1)～(3)承認された。	
第3回	日程	9月11日(水)
	場所	福祉保健活動拠点
	人数	理事7人(定数:11人)、監事3人
	内容	(1) 福祉基金の運用について (2) 令和元年度一般会計収入支出補正予算(案)について (3) 会員の承認について (4) 評議員会の招集について (5) 2020年心のバリアフリーカレンダー入選作品の選考について
	結果	(1)～(5)承認された。
第4回	日程	11月21日(木)
	場所	福祉保健活動拠点
	人数	8人(定数:11人)、監事2人
	内容	(1) 会員の承認について (2) 横浜市旭区社会福祉協議会の保有する保有個人データの開示等の請求に関する規程の一部改正について (3) あさひいき宣言(103号)テーマ・特集について (4) 社会福祉功労表彰審査について
	結果	(1)～(4)承認された。

第5回	日 程	1月28日(火)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	11人(定数：11人)、監事3人
	内 容	(1) 評議員選任・解任委員会委員の選任について (2) 評議員選任・解任委員会の招集について (3) 評議員選任候補者の推薦について (4) 評議員会の招集について (5) 旭区福祉保健活動拠点の次期指定管理者への応募について (6) 令和3年度赤い羽根共同募金地域福祉事業費ならびに令和2年度年末たすけあい援護費使途計画について
結 果	(1)～(6)承認された。	
第6回	人 数	11人(定数：11人)、監事3人 ※新型コロナウイルスの影響により決議の省略にて実施。
	内 容	(1) 会員の承認について (2) 令和元年度 横浜市旭区社会福祉協議会収入支出補正予算(案)について (3) 令和2年度「あさひいきいき宣言(旭区社協だより)」について (4) 福祉基金の活用について (5) 令和2年度 横浜市旭区社会福祉協議会事業計画(案)および収入支出予算(案)について (6) 評議員会の招集について
	結 果	3月16日、全員一致により承認された。

#### 【評議員会】 4回

第1回	日 程	6月20日(木)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	評議員19人(定数：23人)、監事1人
	内 容	(1) 平成30年度 旭区福祉保健活動拠点(指定管理者)事業報告および収入支出決算報告について (2) 平成30年度 旭区社会福祉協議会 事業報告および収入支出決算報告について (3) 理事の選任について (4) 監事の選任について
結 果	(1)～(4)承認された。	
第2回	日 程	9月25日(木)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	評議員16人(定数：23人)、監事1人
	内 容	(1) 令和元年度一般会計収入支出補正予算について (2) 理事の選任について
結 果	(1)(2)承認された。	

第3回	日 程	2月12日(水)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	評議員 15人(定数：23人)、監事 2人
	内 容	(1) 職員就業規程の一部改正について
	結 果	(1)承認された。
第4回	人 数	評議員 23人(定数：23人) ※新型コロナウイルスの影響により決議の省略にて実施。
	内 容	(1) 令和元年度 横浜市旭区社会福祉協議会収入支出補正予算(案)について (2) 令和2年度 横浜市旭区社会福祉協議会事業計画(案)および収入支出予算(案)について
	結 果	3月27日、全員一致により承認された。

#### 【評議員選任・解任委員会】 2回

第1回	日 程	6月10日(月)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	4人(定数：4人)
	内 容	評議員の選任について
	結 果	承認された。
第2回	日 程	1月28日(火)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	4人(定数：4人)
	内 容	評議員の選任について
	結 果	承認された。

#### 【監事監査会】 1回

日 程	5月28日(月)
場 所	福祉保健活動拠点
人 数	2人
内 容	(1) 平成30年度の業務監査 (2) 平成30年度の財務監査 (3) 監事候補者の推薦について
結 果	(1)～(3)承認された。

#### 【業者選定委員会】 1回

第1回	日 程	1月28日(火)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	3人
	内 容	(1) 令和2年度 旭区福祉保健活動拠点「ばれっと旭」清掃委託契約について
	結 果	(1)承認された。

【民生委員・児童委員分科会】

今年度は会長会だけでなく正副会長、監事、主任児童委員代表が参加する企画委員会にも1層生活支援コーディネーターが参加し、事業について企画段階から関わった。

(区民生委員児童委員協議会会長会へ事務局長と1層生活支援コーディネーターが出席)

第1回	日 程	4月10日(水)
	場 所	旭公会堂 1・2号会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)平成30年度「生活福祉資金貸付金借受世帯状況確認書集計報告」について
	結 果	(1)報告した。
第2回	日 程	5月14日(火)
	場 所	区役所 新館 大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)旭区地域福祉保健計画推進研修(旭区社会福祉協議会会員向け研修)のご案内について (2)令和元年度共同募金「赤い羽根共同募金」の日程について
	結 果	(1)、(2)説明した。
第3回	日 程	6月13日(木)
	場 所	区役所 外部会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)令和元年度「生活福祉資金借受世帯状況確認書」の提出について (2)令和元年度共同募金「赤い羽根共同募金」の日程について
	結 果	(1)、(2)説明した。
第4回	日 程	7月11日(木)
	場 所	旭公会堂 1・2号会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)令和元年度「生活福祉資金借受者世帯支援記録票整備状況報告」について
	結 果	(1)報告した。
第5回	日 程	9月12日(木)
	場 所	旭公会堂 1・2号会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)令和元年度赤い羽根共同募金(街頭募金)について (2)民生委員の一斉改選に伴う「生活福祉資金借受世帯の引継ぎの実施について (3)「第5回よこはま地域福祉フォーラム」開催について
	結 果	(1)～(3)説明した。

第6回	日 程	10月10日(木)
	場 所	区役所 外部会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)令和元年度赤い羽根共同募金(街頭募金)について (2)旭区生活支援体制整備事業フォーラムについて
	結 果	(1)、(2)説明した。
第7回	日 程	11月12日(火)
	場 所	区役所 新館 大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)2020年「心のバリアフリーカレンダー」の送付及び作品展の開催について (2)令和元年度「生活福祉資金新任民生委員研修会」の開催について
	結 果	(1)、(2)説明した。
第8回	日 程	12月12日(木)
	場 所	区役所 新館 大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)令和元年度「旭区社会福祉協議会 事業出張説明会」について (2)令和元年度 生活福祉資金貸付事業ハンドブック(民生委員向け)の送付について (3)「第9回きらっとあさひ福祉大会」チラシ案について
	結 果	(1)、(2)説明した。
第9回	日 程	2月13日(木)
	場 所	区役所 新館 大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)旭区社協会員研修(旭区福祉保健計画推進研修) 「8050問題の現実と課題 ～旭区の将来を見据えて～」実施について (2)第16回旭区チャリティーゴルフ大会のボランティア派遣について (3)共同募金旭区支会役員任期満了にかかる副支会長等の推薦について
	結 果	(1)～(3)説明した。
第10回	日 程	3月14日(木) ※新型コロナウイルスの影響により中止
	場 所	—
	人 数	—
	内 容	—
	結 果	—

【地区社会福祉協議会分科会】

(1) 分科会

グループワーク等を通じて、各地区の取組状況について意見交換・情報交換を行った。

第1回	日 程	5月23日(木)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	36人(18地区)
	内 容	意見交換会「地区社協が今後取り組むべきこと」 議題 (1)助成金審査委員会及びボランティアセンター運営委員会委員の選出について (2)横浜市社協 地区社協検討会 委員について (3)第4期旭区地域福祉保健計画策定検討部会 メンバーの推薦について 報告 (1)令和元年度 地区社協分科会年間予定について (2)旭区地域福祉保健計画推進研修の開催について (3)各種助成金の申請について (4)地区社協状況書ヒアリングについて (5)新あさひみらい塾について(報告)
	結 果	議題(1)～(3)選出した。報告(1)～(5)説明した。
第2回	日 程	7月25日(木)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	35人(19地区)
	内 容	議題 (1)生活困窮者支援啓発講演会について (2)第1回 地区社協分科会について(報告) (3)第4期旭区地域福祉保健計画の策定について (4)令和元年度 新あさひみらい塾について (5)地区社協分科会 視察研修について
	結 果	(1)～(5)説明した。
第3回	日 程	9月27日(木)
	場 所	沼津市愛鷹地区センター
	人 数	33人(16地区)
	内 容	視察研修会 各種団体がささえる「小地域福祉ネットワーク活動について」 議題 (1)第1回 地区社協検討会について (2)第9回きらっとあさひ福祉大会概要および社会福祉功労表彰候補者の推薦について
	結 果	(1)(2)説明した。

第4回	日 程	11月28日(木)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	32人(18地区)
	内 容	意見交換会「視察研修振返り」 「各地区における見守り活動の状況について」 報告 (1)第2回 地区社協検討会について(報告) (2)旭区生活支援体制整備事業フォーラムについて(報告) (3)第3回 地区社協分科会について(報告) (4)第1回 地区社協分科会ワーキンググループについて(報告) (5)令和元年度 よこはまの地区社協全体会の開催について
	結 果	(1)検討会委員より報告した。(2)(3)(5)説明した。 (4)ワーキングメンバーより報告した。
第5回	日 程	3月26日(木) ※新型コロナウイルスの影響により中止
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	—
	内 容	—

## (2) ワーキンググループ

地区社協のネットワークを活かした見守り活動の推進のため、新たにワーキンググループを設け、検討を進めた。

第1回	日 程	11月14日(木)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	6人(6地区)
	内 容	意見交換「各地区における見守り活動の現状について」
第2回	日 程	12月23日(月)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	6人(6地区)
	内 容	意見交換「地区社協の強みを生かした見守りの仕組みづくりについて」
第3回	日 程	2月17日(月)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	6人(6地区)
	内 容	意見交換「東急片倉町内会の取組を聞いて」

【地域組織分科会】

会議に出席し、各地区連合会長との連携を深めた。

(区連合町内会自治会連絡会定例会への事務局長が出席)

第1回	日 程	4月18日(木)
	場 所	区役所 新館2階 大会議室
	人 数	19人
	内 容	(1)平成31年度日本赤十字社会員増強運動及び旭区更生保護協会会費の納入について (2)広報誌「あさひいきいき宣言(旭区社協だより)」の配布及び配布謝金の免除について
	結 果	(1)(2)依頼した。
第2回	日 程	5月20日(木)
	場 所	福祉保健活動拠点
	人 数	19人
	内 容	旭区地域福祉保健計画推進研修(旭区社会福祉協議会会員向け研修)について
	結 果	依頼した。
第3回	日 程	6月18日(火)
	場 所	二俣川コミュニティ・サロン
	人 数	19人
	内 容	(1)令和元年度共同募金運動へのご協力について (2)令和元年度新あさひみらい塾受講生の推薦について
	結 果	(1)(2)依頼した。
第4回	日 程	7月18日(木)
	場 所	区役所 新館2階 大会議室
	人 数	19人
	内 容	広報誌「あさひいきいき宣言(No.101)」の戸別世帯配布について
	結 果	依頼した。
第5回	日 程	8月19日(月)
	場 所	区役所 新館2階 大会議室
	人 数	19人
	内 容	依頼および説明事項なし
	結 果	なし
第6回	日 程	9月18日(水)
	場 所	区役所 新館2階 大会議室
	人 数	19人
	内 容	(1)令和元年度共同募金運動へのご協力について (2)旭区生活支援体制整備事業フォーラムの開催について (3)第4期旭区地域福祉保健計画 策定検討部会報告について
	結 果	(1)(2)依頼した。(3)報告した。

第7回	日 程	10月18日(金)
	場 所	区役所 新館2階 大会議室
	人 数	19人
	内 容	依頼および説明事項なし
	結 果	なし
第7回	日 程	11月18日(月)
	場 所	区役所 新館2階 大会議室
	人 数	19人
	内 容	依頼および説明事項なし
	結 果	なし
第9回	日 程	12月18日(水)
	場 所	福祉保健活動拠点 旭区役所 新館2階 大会議室
	人 数	19人
	内 容	(1)第9回きらっとあさひ福祉大会の開催ならびにポスターの掲示について
	結 果	(1)依頼した。
第10回	日 程	1月17日(金)
	場 所	二俣川コミュニティサロン
	人 数	19人
	内 容	(1)令和元年度日赤旭区地区委員会研修会の開催について (2)令和2年度日赤献血受付活動へのご協力について
	結 果	(1)(2)依頼した。
第11回	日 程	2月18日(火)
	場 所	旭公会堂 1・2号会議室
	人 数	19人
	内 容	(1)社会福祉協議会賛助会費のお礼及び令和2年度のご募集について (2)社会福祉協議会会員研修(旭区福祉保健計画研修)「8050問題の現実と課題～旭区の将来を見据えて～」実施について (3)第4期きらっとあさひプラン(旭区地域福祉保健計画)策定の進捗状況について
	結 果	(1)(2)お礼並びに依頼した。(3)報告した。
第12回	日 程	3月18日(月) ※新型コロナウイルスの影響により書面開催
	場 所	—
	人 数	—
	内 容	(1)令和元年度日本赤十字社会費募集結果報告について (2)令和元年度新あさひみらい塾の実施報告について
	結 果	(1)情報提供をした。(2)報告した。

### 3 研修会の開催

【会員向け研修の開催】(再掲。詳細はP14 参照)

地域共生社会の実現に向けて、求められる地域づくりや活動を進めるにあたってのヒント、地域と支援機関との連携等について講演会、パネルディスカッションを開催した。

日 程	7月19日(金)
場 所	旭公会堂 ホール
人 数	179人
内 容	1. 講演会:「地域共生社会の実現に向けた地域づくり」 2. パネルディスカッション

### 4 社会福祉士実習生受入

未来の社会福祉人材の養成のために、社会福祉士援助実習を受け入れた。

東海大学 1人(8月5日(月)～9月11日(水)のうち各23日間)

法政大学 1人(8月5日(月)～9月11日(水)のうち各24日間)

### 5 地域福祉関連団体との連携

(1) 本会事業の目的を達成するために、申請のあった各団体活動に対し、共催・後援した。

(共催: 2件、後援: 8件)

項目	事業名	主催者名	内容
1 共催	第6回あっぱれフェスタ	旭区地域自立支援協議会	期日: 7月4日(木)～6日(土) 場所: 福祉保健活動拠点、旭公会堂 内容: 展示・ワークショップ
2 共催	第12回旭区地域生活支援フォーラム	旭区地域自立支援協議会	期日: 12月7日(土) 場所: 旭公会堂 内容: 講演会
3 後援	第30回旭区舞踊協会チャリティ発表会	旭区舞踊協会	期日: 6月2日(日) 場所: 旭公会堂 内容: チャリティイベント
4 後援	第41回住宅デー	神奈川土建一般労働組合	期日: 6月9日(日) 場所: 中希望が丘くすのき公園、都岡町内会館、他 内容: チャリティイベント
5 後援	こども夏休みスペシャル	旭区市民活動生涯学習アドバイザークラブ	期日: 7月27日(土)、8月24日(土) 場所: 旭区市民活動支援センター「みなくる」 内容: 体験イベント
6 後援	'19横浜旭ジャズまつり	旭ジャズまつり実行委員会	期日: 7月28日(日) 場所: こども自然公園 野球場 内容: チャリティイベント

7	後援	子どもにスマホを持たせるとき～親が知っておくべきポイント～	スマイル・ラボ	期日：11月12日、19日、26日 いずれも(火) 場所：旭区市民活動支援センター「みなくる」及び旭区福祉保健活動拠点 内容：講演会
8	後援	第17回ひかり福祉フェスタ	ひかり福祉フェスタ実行委員会	期日：11月17日(日) 場所：ひかりが丘地域ケアプラザ 内容：模擬店・バザー等
9	後援	第19回希望が丘南地区クリーン活動	希望が丘南地区社会福祉協議会	期日：12月1日(日) 場所：善部小及び希望が丘南地区周辺 内容：クリーン活動(ゴミ拾い)等
10	後援	KKネットまつり	希望が丘・希望が丘南地区子育て応援ネットの会	期日：12月8日(日) 場所：希望が丘地区センター 内容：遊びコーナー・模擬店等

(2) 次の6団体の事務局を担った。

- ①共同募金会旭区支会
- ②旭保護司会
- ③旭区更生保護女性会
- ④旭区遺族会
- ⑤旭区更生保護協会
- ⑥日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部旭区地区委員会
- ⑦旭区チャリティーゴルフ大会実行委員会

令和元年度 あさひふれあい助成金等 助成団体一覧

【あさひふれあい助成金 要援護者支援区分】

総額(円): **8,334,000**

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	さえずり	集いの場活動	400,000
2	スタイルきつず	集いの場活動	400,000
3	木々の会	集いの場活動	300,000
4	サロンあさひ	集いの場活動	180,000
5	えくぼ	集いの場活動	180,000
6	みんなの集いの場	集いの場活動	120,000
7	正和会	集いの場活動	120,000
8	笹野台子育てサロン	集いの場活動	70,000
9	サロンみんなあつまれ!	集いの場活動	50,000
10	グループきずな	集いの場活動	90,000
11	みんきちCafé	集いの場活動	40,000
12	まきラボ子ども文庫	集いの場活動	80,000
13	サロンふるさと	集いの場活動	80,000
14	第2あゆみ会	集いの場活動	80,000
15	旭中央つぶらの会	集いの場活動	80,000
16	旭北第2ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
17	旭北第一ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
18	みなとの茶店	集いの場活動	80,000
19	今宿東町子育てサロン コアラちゃん	集いの場活動	80,000
20	白根ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
21	今宿西町寿々の会	集いの場活動	80,000
22	希望が丘竹の会	集いの場活動	80,000
23	きっさプルメリア	集いの場活動	80,000
24	第4鶴の会	集いの場活動	80,000
25	旭北ふれあいサロン	集いの場活動	80,000
26	第2鶴の会	集いの場活動	80,000
27	今宿東町老人昼食会	集いの場活動	80,000
28	旭北第4ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
29	萌ぎ会	集いの場活動	80,000
30	第3鶴の会	集いの場活動	80,000
31	はなみずきの会	集いの場活動	80,000
32	今宿すみれ会	集いの場活動	80,000
33	第一鶴の会	集いの場活動	80,000

No.	団体名	申請区分	
34	みなまきよこ連	集いの場活動	80,000
35	笹野台昼食会	集いの場活動	80,000
36	ワンコインカフェ吹上の会	集いの場活動	80,000
37	今宿地区中学生ボランティア活動実行委員会	集いの場活動	80,000
38	希望が丘 希望ヶ丘南地区子育て応援ネットの会(KKネットの会)	集いの場活動	80,000
39	万騎が原おたのしみ会	集いの場活動	80,000
40	希望が丘松の会	集いの場活動	80,000
41	ささえ愛ふじみ	集いの場活動	80,000
42	左近山第二ほのぼの会	集いの場活動	80,000
43	おふくろの味サロン	集いの場活動	80,000
44	サロン散歩道	集いの場活動	80,000
45	かるがもサロン	集いの場活動	80,000
46	今宿東町お茶のみサロンひなた	集いの場活動	80,000
47	県営今宿すずらん会昼食会	集いの場活動	80,000
48	サロンドゥしらね	集いの場活動	80,000
49	左近山文化クラブ	集いの場活動	80,000
50	おひさまの会	集いの場活動	80,000
51	親子サロン	集いの場活動	75,000
52	つづきの会	集いの場活動	64,000
53	旭北地区子育て支援運営委員会(A2ライン)	集いの場活動	60,000
54	子育てサロン笑顔	集いの場活動	50,000
55	旭南部の会MaMa♡Kids	集いの場活動	50,000
56	子育てサロンぽっかぽか	集いの場活動	40,000
57	サロン親睦	集いの場活動	50,000
58	お食事サロン「四季彩」	集いの場活動	40,000
59	二俣川ニュータウン地区子育てサロン わいわいクラブ	集いの場活動	40,000
60	かみふうせん	集いの場活動	40,000
61	すずらん会	集いの場活動	40,000
62	旭南部地区お茶のみサロンほっと	集いの場活動	35,000
63	桐が作ほっと	集いの場活動	30,000
64	ピヨピヨクラブ	集いの場活動	20,000
65	今宿東自治会ふれあい昼食会	集いの場活動	50,000
66	ちょこっと応援団	家事・生活支援活動	160,000
67	あさひふれあいコール	家事・生活支援活動	160,000
68	若葉台なんでも相談	家事・生活支援活動	50,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
69	リトルサービス	家事・生活支援活動	70,000
70	キャッツハンズクラブ	家事・生活支援活動	50,000
71	ボランティア配食グループ虹	配食活動	300,000
72	おべんとうひよどり	配食活動	240,000
73	わかたけの会	配食活動	160,000
74	宅配ほほえみ	配食活動	160,000
75	お元気会	配食活動	80,000
76	特定非営利活動法人あさひ	送迎活動	350,000
77	NPO法人いっぱい若葉台事業所 のこのこの会	送迎活動	300,000
78	特定非営利活動法人 たちばな福祉会	送迎活動	250,000
79	特定非営利活動法人 オールさこんやま	送迎活動	250,000

【あさひふれあい助成金 障害児者支援区分】

総額(円): **1,267,000**

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	NPO法人クラブハウス二俣川(精神障がい者就労支援事業所アレビ)	障害児者支援活動・当事者活動	100,000
2	NPO法人 打鼓音	障害児者支援活動・当事者活動	100,000
3	なかよし支援グループ	障害児者支援活動・当事者活動	100,000
4	アーティスティックスイミングクラブ(シンクロ) (旧:ブラインドシンクロナイズドスイミングクラブ)	障害児者支援活動・当事者活動	97,000
5	おりしす会	障害児者支援活動・当事者活動	80,000
6	ウキウキアクアクラブ	障害児者支援活動・当事者活動	75,000
7	ハーモニカクラブあすなる	障害児者支援活動・当事者活動	40,000
8	ひよこの会	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
9	Blue☆lace～ぶるーれーす～	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
10	ひまわり会	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
11	トット&ポッポ	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
12	きらっとハピネス	障害児者支援活動・当事者活動	50,000
13	失語症旭区友の会 言喜の会	障害児者支援活動・当事者活動	40,000
14	横浜マック	宿泊・日帰りハイク活動	50,000
15	旭区在宅介護者みなわかい	宿泊・日帰りハイク活動	50,000
16	NPO法人もみの木 もみの木第2作業所	宿泊・日帰りハイク活動	50,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
17	旭区地域訓練会	宿泊・日帰りハイク活動	50,000
18	朗読録音ボランティア なみの会	視覚・聴覚障害者支援	50,000
19	録音グループエコー	視覚・聴覚障害者支援	50,000
20	旭区点訳ボランティア てんとうむし	視覚・聴覚障害者支援	45,000

【あさひふれあい助成金】福祉のまちづくり区分

総額(円):

**945,000**

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	歌うてまり会	⑮その他	40,000
2	ホッと・ミュージック	⑮その他	30,000
3	JUMP★UP-KIDS	⑫子育て支援事業(支援者以外が行う自主的な活動)	40,000
4	日本語ボランティア「虹の会」	③外国人支援(日本語教室、国際交流)	40,000
5	PCどりーむ	⑮その他	40,000
6	旭区ひまわりの会	⑮その他	40,000
7	つながりの丘	⑬施設・病院支援ボランティア(施設内での傾聴ボランティア含む)	40,000
8	なかおバタフライガーデンの会	⑨自然環境活動	40,000
9	若葉台リンク	②セルフヘルプグループ(家族会、介護者の集い、難病・患者会、依存症の会)	40,000
10	親子グループ遊	⑫子育て支援事業(支援者以外が行う自主的な活動)	40,000
11	万騎が原支えあいネットワークかけはしねっと	⑮その他	40,000
12	ばれっと旭おもちゃ病院	④おもちゃドクター	40,000
13	NiCoRi(ニコリ)	⑫子育て支援事業(支援者以外が行う自主的な活動)	40,000
14	旭区精神障害者家族会(あけぼの会)	②セルフヘルプグループ(家族会、介護者の集い、難病・患者会、依存症の会)	40,000
15	ぼろろん座	⑮その他	40,000
16	男の元気食堂	⑧地域住民交流(お祭り、運動会等)	40,000
17	コーヒーボランティアペリゴール	⑮その他	40,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
18	旭・日本語ボランティア	③外国人支援(日本語教室、国際交流)	40,000
19	若葉台市民図書館SOLAおはなし会	⑧地域住民交流(お祭り、運動会等)	40,000
20	レッツ・ハーモニカクラブ	⑮その他	40,000
21	特定非営利法人神奈川視覚障害者情報雇用福祉ネットワーク(View-Net神奈川)	⑮その他	40,000
22	鶴ヶ峰ビューハイツマーゼジャン同好会	⑧地域住民交流(お祭り、運動会等)	40,000
23	ちくちくあさひ	①布おもちゃ	20,000
24	利用サークル パッションひかり	⑮その他	40,000
25	スマイル・ラボ	⑪福祉に関する啓発・勉強会・公開講座	15,000

【あさひふれあい助成金 健康増進区分】

総額(円): 10,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	Musica 4 Tune	②施設等を訪問する特技ボランティア	10,000

【あさひふれあい助成金 新規立ち上げ団体】

総額(円): 160,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	フリーハウスかわい「わいが家」	要援護者支援区分(集いの場)	40,000
2	いきいき	要援護者支援区分(集いの場)	40,000
3	ちょこっとボランティアかわい	家事・生活支援活動	40,000
4	お茶べりサロン「さんさん」	要援護者支援区分(集いの場)	40,000

【旭区社協独自助成金 激変緩和措置】

総額(円): 270,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	サロンあさひ	要援護者支援区分	20,000
2	旭北第2ふれあい昼食会	要援護者支援区分	20,000
3	旭北第一ふれあい昼食会	要援護者支援区分	20,000
4	白根ふれあい昼食会	要援護者支援区分	20,000
6	第4鶴の会	要援護者支援区分	20,000
7	今宿東町老人昼食会	要援護者支援区分	20,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
8	旭北第4ふれあい昼食会	要援護者支援区分	20,000
9	萌ぎ会	要援護者支援区分	20,000
10	はなみずきの会	要援護者支援区分	20,000
11	笹野台昼食会	要援護者支援区分	20,000
12	万騎が原おたのしみ会	要援護者支援区分	20,000
13	希望が丘松の会	要援護者支援区分	20,000
14	かるがもサロン	要援護者支援区分	20,000
15	おひさまの会	要援護者支援区分	10,000

【旭区社協独自助成金 ボランティア備品購入】

総額(円): **355,000**

	団体名	購入希望品	助成額(円)
1	ボランティア配食グループ虹	ノートPC、プリンタ	90,000
2	白根ふれあい昼食会	テーブルクロス、参加者名札	23,000
3	萌ぎ会	エプロン	64,000
4	はなみずきの会	エプロン、鍋	100,000
5	さえずり	電子ピアノ	78,000

【旭区社協独自助成金 周年記念事業・記念誌発行経費】

総額(円): **371,000**

	団体名	実施事業	助成額(円)
1	特定非営利活動法人 木々の会	記念講演会の開催	81,000
2	旭区民生委員児童委員協議会	PRクリアファイルの作成・配布	100,000
3	市沢地区社会福祉協議会	記念誌発行	100,000
4	希望が丘・希望が丘南地区 子育て応援ネットの会 (K.Kネットの会)	記念エコバッグの作成・配布	90,000

【旭区社協独自助成金 地域の見守り支えあい活動】

総額(円): **690,000**

	団体名	実施事業	助成額(円)
1	コミュニティーサークル結	子育て世代や障害者の集う居場所	50,000
2	若葉台東自治会	ふれあいサロン	40,000
3	フリーハウスかわい『わいが家』	地域住民の居場所	50,000
4	ごとうさんち食堂	地域食堂	50,000

	団体名	実施事業	助成額(円)
5	ほほえみ会	高齢者サロン	50,000
6	若葉台子ども青空キッチン「グリーン・グリーン」	青空子ども食堂	30,000
7	笹野台地域食堂	地域食堂	50,000
8	どんぐりの輪	古本市 トークイベント	50,000
9	環2市沢下町サロン	青空サロン	47,000
10	万騎が原ハイム自治会	敬老会	30,000
11	鶴ヶ峰西地区民生委員児童委員協議会	クリスマス会 (子ども・障害者・独居高齢者 等対象)	50,000
12	川井地区民生委員児童委員協議会	防寒グッズの配布(75才以上1 人暮らし高齢者見守り対象)	49,000
13	市沢地区民生委員児童委員協議会	防災グッズの配布(75才以上、 1人暮らし高齢者世帯生活困 窮者対象)	50,000
14	お茶べりサロンさんさん	サロン	44,000
15	若葉台地区社会福祉協議会	挨拶運動 移動サロン	50,000

【旭区地域福祉活動団体助成】

総額(円): **730,000**

No.	団体名	事業名	助成額(円)
1	旭区老人クラブ連合会	各種行事	450,000
2	旭区子ども会育成連絡協議会	書道展・広報紙発行	130,000
3	旭区障害児者団体連絡会	旭区障害児者団体連絡会	150,000

# 令和元年度 福祉教育実施状況

## 福祉教育【学校に向けたもの】

No	実施月	学校名	対象	内容	協働先
1	7月	二俣川看護福祉高等学校	3年生	社会福祉協議会の役割について 地域とボランティアの関わりについて	旭区社協ボランティアセンター職員
2	7月	本宿小学校	4年生	視覚障害者理解	View-net神奈川
3	10月	万騎が原小学校	4年生	視覚障害者理解	ViewNet神奈川
4	10月	川井小学校	5年生	聴覚障害者理解	横浜市立ろう特別支援学校 教員
5	11月	二俣川小学校	4年生	車いす・高齢者擬似体験、老人クラブとの交流	二俣川地区社協・地区民児協・老人クラブ、二俣川地域ケアプラザ
6	11月	左近山小学校	5年生	車いす・高齢者擬似体験	左近山地区社協、旭かけはし、双葉会支援グループ、左近山地域ケアプラザ
7	11月	本宿小学校	3年生	身近にある障害者施設との交流	NPO法人 活動ホームふたまたがわ
8	11月	今宿南小学校	3～4年	聴覚障害者理解	横浜市聴覚障害者福祉協会
9	11月	白根小学校	5年生	高齢者理解(高齢者が生きてきた時代を知る、昔遊びを通じた交流)	旭北地区内自治会町内会、上白根地域ケアプラザ
10	11月	白根小学校	4年生	視覚障害者理解	ViewNet神奈川
11	11月	白根小学校	2年生	聴覚障害者理解	横浜市聴覚障害者福祉協会
12	11月	善部小学校	全校	視覚障害者理解	ViewNet神奈川
13	11月	万騎が原小学校	2年生	認知症理解	横浜市キャラバンメイト 旭区ひまわりの会
14	12月	左近山小学校	6年生	認知症理解	横浜市キャラバンメイト 旭区ひまわりの会
15	12月	鶴ヶ峯小学校	4年生	視覚障害者理解	ViewNet神奈川
16	12月	白根小学校	3年生	地域ケアプラザでの高齢者との交流	上白根地域ケアプラザ
17	12月	中尾小学校	4年生	ポッチャを通して誰もが楽しめるための工夫を学ぶ	おりしす会
18	12月	二俣川小学校	全校	視覚障害者理解	ViewNet神奈川
19	12月	都岡小学校	1～4年生	聴覚障害者理解	横浜市聴覚障害者福祉協会
20	1月	上白根小学校	4年生	視覚障害者理解	ViewNet神奈川
21	1月	本宿中学校	1年生	高齢者理解(認知症理解)・視覚障害理解・聴覚障害理解	横浜市キャラバンメイト 旭区ひまわりの会、ViewNet神奈川、横浜市聴覚障害者福祉協会
22	コロナウィルスにより中止	都岡中学校	1年生	精神障害・知的障害施設職員当事者からの講話	-

## 福祉教育【企業に向けたもの】

No	実施日	学校名	対象	内容	協働先
1	9月10日	サンハート	職員	車いす・高齢者擬似体験	旭区社会福祉協議会 職員
2	12月中旬	有料老人ホーム ホームステーションライフ二俣川	入居者家族・地域の方	認知症理解	横浜市キャラバンメイト 旭区ひまわりの会

# 令和元年度 善意銀行 金銭寄付者一覧

【寄付金の受入】 件数:27件 預託金:823,286円

No.	受領日	寄付者名	預託金(円)
1	4月5日	たかはし書道教室	5,000
2	4月18日	アイメイトあさひ	3,874
3	4月23日	匿名	45,340
4	5月13日	横浜旭郵趣会	4,318
5	6月3日	旭区舞踊協会	50,100
6	6月4日	荻窪 邦昭	10,000
7	7月2日	旭区チャリティーゴルフ大会実行委員会	278,364
8	7月4日	あさひ茶花道協会	21,370
9	7月24日	大道 恒	5,000
10	8月26日	ヘアメイクファンジョン	80,000
11	10月4日	荻窪 邦昭	10,000
12	10月16日	北村 勝利	30,000
13	10月24日	一般社団法人 保土ヶ谷青色申告会	30,800
14	10月29日	匿名	50,000
15	11月11日	横浜市旭区老人クラブ連合会 女性委員会	10,000
16	11月11日	公社)神奈川県LPガス協会横浜旭保土ヶ谷支部	30,000
17	11月21日	旭区障害児者団体連絡会	22,952
18	11月25日	北村 勝利	20,000
19	11月26日	匿名	675
20	12月2日	都岡町内会チャリティー餅つき大会	43,093
21	12月12日	ヨガサークル ロータス	15,000
22	12月20日	ヘアメイクファンジョン	17,000
23	12月27日	伊藤 志壽江	20,000
24	1月16日	今宿西地域ケアプラザ	5,000
25	2月4日	荻窪 邦昭	10,000
26	2月8日	匿名	400
27	2月10日	金子 晶子	5,000